学校番号	305

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	3	1	EARTHRISE English Logic and Expression　Ⅰ （数研出版）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理・表現Ⅰの授業は言語や文化に対する理解を深め，コミュニケーションを図ろうとする態度を養う力をつける授業です。

・論理的な思考力を養い，論理の展開や表現の方法を工夫し，伝える能力を養うということを意識して学習することが大切です。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。	基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Lesson 1 自己紹介 Lesson 2 今週末の予定 Lesson 3 旅行	聞くこと	a: 褒める，勧める，断るときの表現の形・意味・用法を学ぶ。 b: 提案する，依頼する，状況を説明する表現を学ぶ。 c: 身近な人を紹介するスピーチを聞いて理解することができる。 d: 自分について説明するやり取りの場面での表現を学ぶ。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 主語，動詞，文構造，疑問文と否定文，品詞，句と節について、文型を理解する。 b:身近な人や物事（「言ったりすること」や「書いたりする事」等）に関する英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えている。 c: 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて，現在の自分の具体的な状況などを説明することができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて，相手を褒めたり，物事を勧めたりできる。また，勧誘内容を理解し，提案を断ったりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 b：適切な表現を用いて自分について語ることができる。 c: 聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: 場面や状況を理解し，適切な表現を用いて，相手を褒めたり，物事を勧めたりできる。また，勧誘内容を理解し，提案を断ったりして，自分の考えや気持ちなどを書いて伝えることができる。 b: 学んだ知識を用いて，状況を伝える，状況を尋ねる，指示・アドバイスをするときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを説明できる。 c:時制（現在・過去・未来・現在完了形・過去完了形）を理解する。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	中間考査			
	Lesson 4 助言・アドバイス Lesson 5 課外活動 Lesson 6 日本文化	聞くこと	a: 描写する，相槌を打つことができる。 b: 学校の場面で様々な表現を用いて尋ねたり，伝えたりすることができる。 c: 日本文化学んだ知識を使って，適切に文を作ったり，表現したりすることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a:やってみたい活動について尋ねたり，伝え合ったりする表現を学ぶ。 b: 助動詞・受動態を理解し，それぞれの意味を区別することができる。 c: 能動態と受動態の書き換えができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: 助動詞と動詞の役割を理解し，伝えたいことを適切な助動詞を用いて，書いたり話したりすることができる。 b:学校で計画していることや予定していることについて，具体的に詳細を書いて伝えることができる。 c:海外からの旅行者にすすめたい日本文化について，具体例を挙げて，伝えることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと （発表）	a: 学校の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 b: 希望や理由について伝え合うことができる。 C: 適切な表現を用いて相手に相談することができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	期末考査			
2学期	Lesson 7 ボランティア活動 Lesson 8 学校生活 Lesson 9 環境問題	聞くこと	a: 状況を説明する，手助けを申し出る，助言・提案をする，お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解している。 b: 日常生活で発話される自然な会話の流れを学び，自分の感情や物事を詳細に表現することができる。 c: 様々な表現を用いて，原因や影響について表現することができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 共感を述べる，残念な気持ちを述べる，解決策を提案するときに自分の意見や考えを伝えたり，相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 b: 不定詞や動名詞を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝えることができる。 c: 喜びや驚きの感情を表すことができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: to不定詞と動名詞，それぞれの意味と用法を理解し，適切に使い分けて表現することができる。 b:要望や主張に情報や考え，気持ちなどを適切な理由や根拠を加えて書いて伝えることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査

			c:学校の英字新聞に投稿する記事について，情報や考え，気持ちなどを適切に書いて伝えることができる。	
		話すこと（やり取り）	a: 会話の相手に共感を述べたり、残念な気持ちを述べることができる。 b: 解決策ついて伝え合うことができる。 c: 学校生活について詳細に伝えることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	中間考査			
	Lesson 10 勉強・デジタル機器 Lesson 11 尊敬する人 Lesson 12 祭・祝日	聞くこと	a: クラス全体でチョークディベートをする場面での表現を学ぶ。 b: 自らの子供のころの経験について紹介するする表現を学ぶ。 c: オリエンテーリングのルールや手順を紹介する際に、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 現在分詞や過去分詞の用法を学び，より詳細な情報を読み取ることができる b: 関係詞の様々な用法を学び，多様な文を読み取ることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: できごとを生き生きと描写する，経験からアドバイスをするときの自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。 b:ルールや手順を情報や具体的を加えて詳細に書いて説明することができる。 c: 相手の意見に反駁する，相手の意見を引用するときの具体例や詳細な情報を加えて文章を書いて伝えることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと（発表）	a:ルールや手順について詳細に伝えることができる。 b:自らの子供のころの経験について発表することができる。 c:相手の意見に反駁する，相手の意見を引用して話すことができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	期末考査			
3学期	Lesson 13 世界の国々 Lesson 14 好きなこと・大切なもの	聞くこと	a: 世界の国々の歴史や文化を知ることにより，日本文化との違いを知り、日本の良さを再認識する。 b: 自分・兄弟姉妹・友人などとの様々な会話から，果たして大切なものは何なのかを追求する方法を学ぶ。 c: 海外に行くことについて意見を述べる表現を学ぶ。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		読むこと	a: 事実と意見を区別して述べる，文化や習慣を説明する文を読んで理解することができる。 b: ディスコースマーカーの働きを学び、話題を変える文について読むことができる。 c: 比較や仮定法を用いた文を読み、理解することができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		書くこと	a: 事実と意見を区別して述べたり，相手の認識に配慮し，客観的に説明することができる。 b: 適切な表現を用いて，利点と欠点の両方を述べたり，話題を発展させたり，ディスコースマーカーを適切に用いて話題を変えたりすることができる。 c: 自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，相手が納得できるように，自分の主張の理由・根拠を説明したり，相手の意見を理解し，理由を要約して述べることができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
		話すこと（発表）	a: 世界の国々について紹介することができる。 b: 欠点と利点について自分の考えを伝え合うことができる。 c:適切な表現を用いて相手を説得することができる。	A. 授業観察 B. 発話評価 C. 課題提出 D. 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度